

南海電鉄・難波駅におけるAIを活用した 「非接触」でのお客さま案内実証実験に 「駅すぱあとWebサービス」が採用

経路検索サービス「駅すぱあと」を提供する株式会社ヴァル研究所（本社：東京都杉並区、代表取締役：菊池 宗史）は、南海電気鉄道株式会社が2021年7月7日（水）より難波駅（大阪市中央区難波五丁目1番60号）で実施する“AIを活用した非接触型ディスプレイ”によるお客さま案内の実証実験に、多言語の経路検索機能をシステムに組み込めるAPI「駅すぱあとWebサービス」を提供します。



南海電気鉄道株式会社は、2021年7月7日（水）から9月30日（木）まで、駅での案内サービスを充実させることを目的に、難波駅にAIを活用した非接触型ディスプレイを設置し、利用者からのお問い合わせに対して適切な案内ができるかを検証する実証実験を行います。

この実証実験で用いられるAIの経路検索機能に、「駅すぱあとWebサービス」を採用いただきました。

「駅すぱあとWebサービス」は、「駅すぱあと」が持つ機能や全国の公共交通機関データを自由にシステムに組み込めるAPIです。

「経路検索」と「駅の情報」は多言語対応しており、AIと連携することで、英語などによる対話での乗り換え案内が可能となります。

ヴァル研究所では、今後も多様化する移動の課題解決や利便性向上に向け、さまざまな連携、共創と新たなサービス開発に努めてまいります。

■南海電気鉄道株式会社の実証実験について

実施期間	2021年7月7日（水）～9月30日（木）
実施場所	難波駅3階北改札口

対応言語	日本語・英語
表示項目	乗換案内、駅構内や駅周辺の案内、観光情報、道案内動画を用いたルート案内など

<関連ニュースリリース>

南海電気鉄道株式会社：http://www.nankai.co.jp/library/company/news/pdf/210701_1.pdf

■「駅すぱあと Web サービス」について



「駅すぱあと Web サービス」は、「駅すぱあと」が持つ経路検索、運賃計算機能や全国の公共交通機関データなど、Web サイトやアプリに自由に組み込むことができる API サービスです。経費精算などの業務支援サービスや旅行アプリ、MaaS アプリなどで「駅すぱあと」の機能やデータを活用することが可能です。「経路検索」「駅の情報」は、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、タイ語にも対応しています。

製品紹介：<https://ekiworld.net/service/sier/web-service/>

API 仕様書：<https://docs.ekispert.com/v1/>

■株式会社ヴァル研究所について

1988年にMS-DOS版の経路検索システム「駅すぱあと」を発売して以来、全国の公共交通機関データと高い信頼性をベースにさまざまな法人向け・個人向けサービスを展開しており、取引実績は12万社以上です。

近年では公共交通機関に加え、シェアサイクルなどのさまざまな新しいモビリティサービスへの対応など、MaaSへの取り組みや次世代の経路検索システムの研究・開発を推進しています。

商号：株式会社ヴァル研究所

代表取締役：菊池 宗史

所在地：東京都杉並区高円寺北 2-3-17

設立年月日：1976年7月26日

資本金：4,100万円

企業サイト：<https://www.val.co.jp/>

※記載されている会社名、製品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

※仕様や提供内容については予告なく変更となる場合があります。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ヴァル研究所 担当：福井 滯菜

TEL：03-5373-3529 MAIL：pr-office@val.co.jp